

中学生のみなさんへ

TOEFL Primary[®]と 学校の授業、家庭学習にどう取り組むか —スピーキング編—

大阪教育大学 英語教育部門 准教授
一般社団法人 国際教育英語試験協会 アドバイザー
篠崎 文哉

TOEFL Primary[®]スピーキングテストの形式

対象	英語学習者 初級レベル (TOEFL Primary [®] Step 1・Step 2 両方の受験レベルの方)
受験方式	CBT (Computer Based Testing) …パソコン・タブレットを使用した試験方式
設問数	8問
試験時間	約20分
スコアレンジ	0~27
スコアレベル	● ~ ●●●●●
CEFR	A1未満~B2
採点	ETS公認の複数のRater (採点者) により評価
問われる能力	日常生活に関連する状況について口頭でコミュニケーションする
	感情や心境に関して表現する
	簡単な依頼や指示をする
	人や物、動物、場所、動きを描写する
	簡単な出来事を説明する

© 2017 Kumon Institute of Education Co., Ltd. (<https://www.toefl-junior-primary.jp/guid/primary-speaking/>)



目次

1. はじめに	p.2
2. TOEFL Primary® Speakingについて	p.2
◆Express basic emotions, feelings, and opinions	p.2
◆Give directions	p.3
◆Give simple descriptions	p.4
◆Explain and sequence simple events	p.4
◆Make simple requests	p.5
◆Ask questions	p.6
3. スコアレベル 1～2 向け学習法	p.7
4. スコアレベル 3～4 向け学習法	p.9
5. スコアレベル 5 向け学習法	p.11
6. おわりに	p.12

1. はじめに

どうせ英語を勉強するなら話せるようになりたいと思っている人は多いのではないのでしょうか。一方で、どのように学習や練習をすればよいのかはよく分からないという人もいます。本稿では、TOEFL

Primary® Speakingをこれから受験する人、もしくはすでに受験した人の中で、どのような方法でスキルアップを目指せばよいか悩んでいる人を対象に、具体的な練習方法やその背景について簡単にお示しします。

2. TOEFL Primary® Speakingについて

最初に、TOEFL Primary® Speaking がどのようなものなのか確認しましょう。このテストは、コンピューター上で受験するものとなっています。設問数は7~10問となっており、試験時間は約20分です。対面で行う面接試験では、実施の都合上もあり、5~10分程度かと思いますが、個別で受験するため、より多くの設問が用意されています。受験する側からすると大変に感じるかもしれませんが、その分、より多角的な分析がなされることと思います。

測る力と内容として、以下が挙げられています。

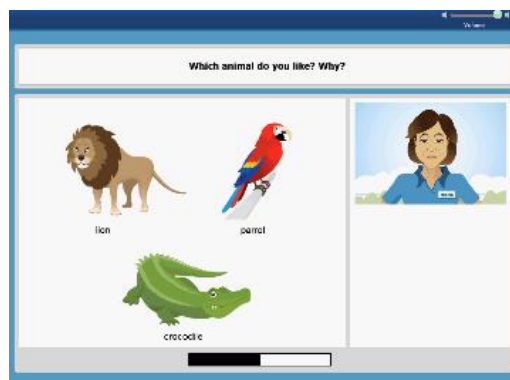
- ・日常生活に関連する状況について口頭でコミュニケーションする
- ・感情や心境に関して表現する
- ・簡単な依頼や指示をする
- ・人や物、動物、場所、動きを描写する
- ・簡単な出来事を説明する

リスニングとリーディングで構成されるTOEFL Primary® Step 1・2と同様に、日常的话题や場面において、依頼や指示、説明などの言語機能を理解し、使えるかが確認されます。

では、ウェブサイト (<https://www.toefl-juniorprimary.jp/guid/primary-speaking/#sample>)

で公開されているサンプルテストを分析してみましょう。6種類の問題が掲載されますので、ひとつずつ見ていきます。なお、本稿で例示している回答は筆者独自のものであり、満点を得られることを保証するものではありません。

◆Express basic emotions, feelings, and opinions



画面の上部には、指示や場面などが表示されます。これらは状況を把握する上で大きなヒントとなるため、注意を払っておきましょう。画面の左右には、絵やアニメーション、話者のイラストが表示されます。画面の下部には、回答時間を表すバーがあります。これがすべて黒くなるまでに回答します。実際の音声を書き起こしたものが次ページです。

男性：Look at these animals.

Lion. Parrot. Crocodile.

女性：Which animal do you like?

Tell me why you like this animal.

(回答時間15秒)

女性：That's a great animal.

今回の場面は動物園です。問題全体を通して一貫した場面が提示されます。ここでは、“Lion”, “Parrot”, “Crocodile” からひとつ選び、なぜその動物が好きなのかを答えます。動物については絵がヒントとなるので、わかりやすいです。回答時間は15秒です。回答として、“I like the lion because it is strong and brave.” などが考えられます。

回答のポイントとして、質問に正確に答えているか(動物を選ぶ、理由を述べる)、文で話しているか(“Lion. Strong.”ではなく主語と動詞のある文か)、一般的に納得しやすい理由となっているかなどが挙げられます。どの回答にも共通すると思いますが、不自然な間があったり、明らかに誤った発音をしたりすると、その伝わりづらさから低いスコアにつながる事が予想されます。

◆Give directions



女性：Today you will give the bird some food.

Watch what to do.

少女：I didn't see the boy.

Tell me how to give food to the birds.

Tell me everything I need to do.

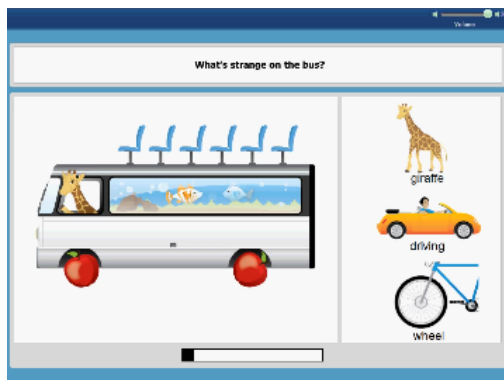
(回答時間30秒)

少女：OK. Let's move on.

4枚の絵は、普段少年がどのように鳥にエサを与えているのかを表しています。この日はその少年がいないようで、少女がエサの与え方を知りたがっています。そこで、少女にエサの与え方を30秒で教えるという設定です。シンプルに回答すると、“First, get some food. Next, open the door of the birdhouse. Finally, put the food on the ground inside. Then, the birds will come and eat it.” といった具合になります。

示された絵をもとに、手順を分かりやすく順序立てて説明できるかが回答のポイントです。また、今回は動画の序盤に、画面上部に“The birdhouse”という言葉が示されていました。TOEFL Primary® Speakingでは、平易な英語が基本とはなるものの、キーワードとなるような語が分からないと話すことが困難になります。画面に表示されている単語は、画面が切り替わり消えることがありますので、後に使う可能性を考えて、その際に記憶しておきましょう。

◆Give simple descriptions



女性：Now it's time to go to the other side of the zoo.
Go to the bus next to the birds.
I will finish my work with the birds and we'll meet you there soon.

男性：These words can help you.
I will say a word or sentence, and then you can say it to practice.
Giraffe. He is driving. Wheel.

女性：I'm here now.
Are you ready to go on to the bus?

少女：Well, some things are strange on the bus.
The stairs, the chairs, the wheels.
Many things are strange on the bus.

女性：Really? Look at the bus again.
Tell me everything that is strange on the bus.

(回答時間20秒)

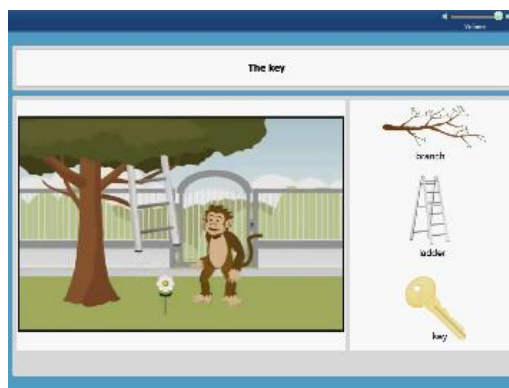
女性：Let's find a different bus.

バスに乗って移動する場面です。女性の説明によって場面や状況が分かります。次に男性が単語や表現を提示しています。上の絵にあるように、実際の回答場面でも必要な単語が提示されています。今回は、少女が言うようにバスが変わったところが見られます。見ているものを適切に描写がで

きるかどうかは問われています。様々な表現の仕方がありますが、例として、“A giraffe is driving the bus.” “The wheels are apples.” “The chairs are on top of the bus.” “Fish are the passengers.” が回答として考えられます。

正確性の高い回答をめざす場合、与えられた単語をそのまま使うと文法的に誤りになってしまうかもしれません。今回のケースでは、giraffe や wheel は、a giraffe や wheels とする必要があります。

◆Explain and sequence simple events



男性：These words can help you.
I will say a word and then you can say the word to practice. Branch. Ladder. Key.
Watch what Billy does.

(アニメーション視聴)

男性：Watch again.

女性：We need the key to enter the gate.
Uh oh, I think Billy was here.
I didn't see him.
You did?
Tell me what happened.
Tell me everything Billy did. Then I can get the key.

(回答時間30秒)

女性：Thank you.

さきほどと同じく、男性が回答に必要な単語を提示してくれています。その後、サルのBillyを主人公としたアニメーションが流れます。“Watch again.”とあるように、2回視聴することになります。この2回でどのようなストーリーかを理解しなければなりません。例えば、以下のように表現できます。

1. First, Billy took the key from the door.
2. When he pulled down a branch, a ladder came out of the tree.
3. Next, Billy climbed the ladder and hid the key carefully.
4. He climbed down the ladder and looked around.
5. Then, he pulled a flower from the ground.
6. The ladder went back into the tree.
7. After that, Billy left.

このような問題では、描写すべき内容がコマで割ってあるわけではないため、描写する箇所を自分で考えなければなりません。

起きたことを説明するため、過去形を用いることになるでしょう。内容だけに注意が向いてしまうと、つい現在形のままになってしまうことがあると思いますので、この点には留意が必要です。また、30秒しか回答時間がないため、話す順番を整理し、端的な言葉でストーリーを説明することが求められます。

◆Make simple requests



少女：Ooh, the tigers are over there.

Let's ask to see the tigers.

We need to ask Maria first.

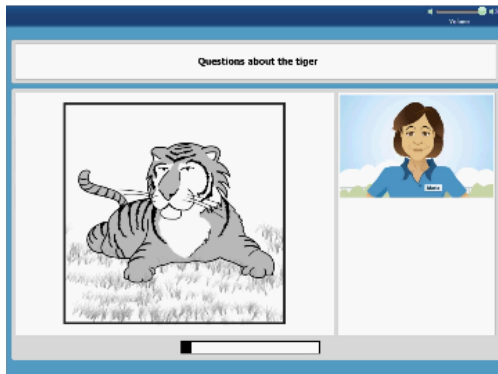
Ask Maria if we can go to see the tigers.

(回答時間15秒)

女性：OK. Let's go.

トラを見に行くことができるか女性に尋ねるという場面です。これまでは、相手の質問や要望に応えるというものでしたが、この問題は自分が相手に尋ねるというものです。回答の仕方は様々ありますが、例えば、“Maria, can we go to see the tigers?”や“Is it okay if we go to see the tigers?”などが考えられます。“We want to go to see the tigers.”も要望を伝えるという意味ではありえますが、許可を求めるためには疑問文で尋ねる方がよいでしょう。そのため、“Can I ~?”や“May I ~?”といった表現を使えるようにしておくことがポイントとなります。

◆Ask questions



女性：Here is the tiger.

What do you want to know about the tiger?

You can ask me what he eats, how big he is, or anything you want.

Ask me three questions about the tiger.

(回答時間30秒)

女性：Those are good questions.

コミュニケーションにおいて質問をするというのは大切な要素です。ここではトラについて3つの質問をするように言われています。どうしても思いつかなければ、女性の言葉を借りて、“What does he eat?” や “How big is he?” を候補に入れるとよいですが、できれば様々な内容や言葉で尋ねたいところです。

例えば、以下が考えられます。

- ・ How often does he eat?
- ・ What is his favorite food?
- ・ Where does he eat?

などのように食べることについても、異なる尋ね方や視点で質問文を作ることができます。他にも、

- ・ How long is his tail?
- ・ How fast can he run?

- ・ Why does he have stripes?
- ・ Can he climb trees?

など様々な質問が作れます。食べ物、体の特徴、普段の生活といった複数の観点から、do, did, is, are, what, where, when, why, who, which, how や what ○○, how ○○などで始まる質問文を瞬時に作る練習が必要です。

実際に受験すると、スコアレポートとスコアガイドが届きます(詳細はウェブサイト <https://www.toefl-junior-primary.jp/guid/primary-speaking/result/> をご覧ください)。27点満点のスコアと5段階のスコアレベルが記載されています。スコアガイドには、「あなたの英語力(スピーキング)」という形で、何ができるのかを示してくれます。また、アドバイスも書かれています。ここまで確認してきた問題で問われている力は、現実のコミュニケーションにおいても必要なものです。スコアレベルを問わず、説明をする練習や質問を作る練習は必要です。場合によっては、まず日本語で練習してみてもよいかもしれません。

次項から、各スコアレベルに応じたより詳細な学習・練習方法について紹介します。なお、各スコアレベルの説明は以下のようになっています。

スコアレベル1

単語と簡単なフレーズを使い、英語を話そうとしている

スコアレベル2

単語と簡単な説明文を使い、初歩的な英語を話すことができる

スコアレベル3

好きなことについて英語で話すことができ、何らかの説明をすることができる

スコアレベル4

好きなことについて英語で表現・説明・指示ができる

スコアレベル5

英語で説明を展開し、より複雑な指示をす

ることができ、効果的に話をするすることができる

まだTOEFL Primary® Speakingを受けたことがない人は、ここまでに見てきた問題内容から、どのスコアレベルに当てはまりそうか自己診断してみてください。

3. スコアレベル1~2向け学習

スコアレベルが1や2の場合、徹底してほしいのは、大きくは単語学習、文法学習、音読の3つです。これらはどのレベルでも共通して重要ですが、このあたりの基礎的な学習や練習が特に不足していると思います。スコアレベル3では、単文でもよいので、自分で文を作って話すということが求められていると考えられます。つまり、単語の使い方や文の構造を理解しておかなければなりません。端的には、学校の授業をしっかりと受け、「復習」をしっかりとすることが必要です。復習として、家でできる学習・練習方法を紹介します。デジタル教科書や付属のCD、それらがなければ発音を調べられる機器を用意してください。鉄則は「聞いて真似する」です。意味の確認も必要ですので下記3つの学習の流れとなります。

- ① 意味を確認する
- ② 単語の発音を聞く
- ③ 真似して発音する

モデル音声を聞いて繰り返し発音してください。その際、その意味を発話していると

いう意識を持ってください。もっとあれこれした方がよいのでは？と思われるかもしれませんが、どのような方法も継続できなければなかなか効果が出てきません。まずは、非常にシンプルな練習を「続けること」を目指してください。もし余裕があれば、最後に「覚える」という意識を持ちながら書いて練習すると、記憶の定着にもよいと思います。

次に文法についてです。ご存知のように、日本語と英語は語順が大きく異なります。英語は語順によって意味が大きく異なります。スコアレベル1~2のみなさんには、まずは語順を意識した練習をおすすめしますつまり、文の構造を意識するという事です。必要なのは単語学習と同じく、何度も何度も様々なパターンが頭に染み込むまで練習することです。したがって、文がどういう構造になっているか、それによってどういう意味になるのかを意識して声に出して読み上げてください。これなしにただ単に文を暗唱しても、応用力がいまいちつかな

いと思います。

以下、学習・練習の流れの例です。

- ① 身につけたい文法項目についてある程度理解する(どういう仕組みかなど)
- ② ワークブックなどの文法問題を解いてみる
- ③ いくつかの例文を覚えて口頭でスラスラ言えるようになるまで練習する
- ④ 部分的に単語を切り替えて練習する

口頭でスラスラ言えるようになったら、書けるか確認してください。①の段階で理解があやふやでも、複数の文を繰り返し口頭でスラスラ言えるまで練習すると、どういう語順なのか、文法項目なのかが少しずつわかってくると思います。

また、TOEFL Primary® Speakingでは、相手に質問をするというタスクも含まれています。肯定文、否定文、疑問文と瞬時に文を作る練習が必要です。丁寧に仕組みを理解し、肯定文から否定文へ、または疑問文への切り替えを口頭で即座にできるようにトレーニングするのもひとつです。

一方、これらの単語や文法の練習は文脈から切り離されています。その橋渡しとなるのが、テキストを用いた音読です。簡単に言うと、学校で使っている教科書などのテキストの内容を理解し、どういう単語や文法なのかを把握した上で、暗唱できるまで徹底的に音読を繰り返すというものです。一つのユニットに、新出の単語や文法があり、それらが使われる場面がテキストになっていますので、効率よく学べるようになっています。音読の詳しいやり方の例は、「TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかーリスニング編ー」をご覧ください。

ここまで、特に変わった学習や練習方法はなかったと思います。結局、単語や文法に裏打ちされていないと、効率よく高いレベルに達するのは難しいのです。例えば、レストランで料理を注文する場面で使えるフレーズをいくつか覚えると、確かに注文はできるかもしれませんが。しかし、店員から注文に関して何か質問されたときに適切に応答できるかということ、途端にハードルが上がります(そもそも聞き取って理解できるかも怪しいです)。このようなフレーズは流ちょうかつ正確にコミュニケーションを行う上で威力を発揮するのは間違いないので、その学習自体はおすすめなのですが、それだけでは様々な場面に対応できないのは明らかです。スコアレベル1~2の方は(3以上のも)、今後のために、基礎・基本の学習がおろそかにならないように注意しましょう。

もう少し実践的な練習も行いたいところです。手軽にできるものとして、絵描写をおすすめします。まず1枚の絵や写真を用意します。いきなり文で描写するのが難しい場合は、単語やフレーズで言えるか確認してみましょう。例えば、次のページのイラストであれば、children (子どもたち)、friends(友達)、elderly man (年配の男性)、having a picnic (ピクニックをする)、walking a dog (犬を散歩させる)、reading a book (本を読む)、swing (ブランコ)、slide (滑り台)、bench (ベンチ)、trees (木々)、dog (犬)、sky (空)など多くあります。



図1 "多くの人々がいる公園"のプロンプトを使用してChatGPTによって生成された画像

文の場合は、

- ・ An elderly man is playing with his dog.
- ・ There are many people in the park.
- ・ A boy is jumping from the slide.

など多く作れます。

慣れてきたら、4コマ漫画などストーリーのあるものを使って、流れを説明する練習をしましょう。冒頭でも確認したように、TOEFL Primary® Speakingでも同様の力が求められています。

4.スコアレベル3~4向け学習法

スコアレベル3や4の方は、基礎的な学習や練習は行いながらも、より発展的な練習を継続的に取り入れていきましょう。一例として、リテリング(retelling)を紹介します。

リテリングは、簡単に言うと、聞いたり読んだりした内容を自分の言葉で相手に伝えるという練習です。「昨日、〇〇(映画のタイトル)を見に行ったんだけど、面白かったよ。」「どんな話なの?」という会話はよくあると思いますが、映画・ドラマや本、ニュースなどの内容を誰かに伝えることは日常的にあります。TOEFL Primary® Speaking でいうと、Explain and sequence simple eventsの問題がこれに近いと思います。リテリングでは、多くの場合、このように相手に自分の言葉で内容伝えますが、ここでは一人でできる練習について説明します。

① 教材を用意してください。学校で使って

いる教科書、インターネット記事、漫画や小説、YouTube動画など、何でも構いません。

② その教材を聞いたり、読んだりしながらキーワードやキーフレーズレベルでメモを作成してください。日本語と英語の両方でも構いません。漫画や動画の場合は、重要な場面の写真を撮ることも考えられます。

③ メモや写真をもとに、文で内容を説明してください。内容を整理するために、まずは日本語でやってみることも有効です。その後、英語でリテリングを行ってください。

およそ最小限のステップはこれくらいだと思います。しかし、よりシステムティックに練習を積み重ねるためには、記録と振り返りが重要です。ここでは、ChatGPTと「News in Levels」の記事(<https://www.newsinlevels.com/products/too-much-electronic-waste-level-2/>)を利用した場合を具体例として説明します。

People keep more unused electronics than they did four years ago, a report says. People kept about 20 items four years ago, but now it is about 30 items. The most popular items are remote controls, phones, and hairdryers. The UN says that there is more electronic waste than companies can recycle. The amount of electronic waste is growing too fast. We are all responsible for this problem, although we want to recycle electronic waste.

It is important to get rid of electronic waste properly because there are valuable materials in it. Using these materials again saves resources. Also, sharing or repairing would make things last longer. The problem is that companies often make products which last only a few years and it is not possible to repair them.

この記事を読みながら、重要なところに線を引いたり、抜き出したりし(上記の例では太字にしました)、キーワード・キーフレーズ化します。リテリングのポイントは、「自分の言葉」で話すことですが、最初の段階では、原文を部分的に用いても構いません。メモを作成したら、ChatGPTのアプリを開いてください。画面右下のボタンを押せば、音声で会話ができるようになります。無料版でも十分に使えます。



実際の人ではないので、間違いを気にせずに練習することができます。また、ここで話したことは、自動的に文字起こしされ、あとで確認することができます。

左の原文をChatGPTにコピー&ペーストし、指示をしてリテリングの文章例を出してもらいました(以下)。

People have more unused electronics now. They had 20 items before, but now they have 30. Common items are remote controls, phones, and hairdryers. The UN says electronic waste is increasing too fast. Recycling cannot keep up. To solve this problem, people need to dispose of e-waste properly. Reusing materials, repairing items, and sharing them can help. Many products break quickly. Since fixing them is not possible, the problem is getting worse.

自分でやってみると分かりますが、どの程度詳しく話すのか、語彙や文法のレベルはどうするかなど検討事項がいくつかあります。メモにあるキーワードなどを、さらに取捨選択したり、言い換えたり(別の言葉に置き換える、異なる構文を使う)する必要があります。上記の文章例は、比較的シンプルな語や構文で成り立っているもの、これを口頭で言えるかということとハードルが高く感じるかもしれません。すでに親しみのある題材から始めるとよいと思います。

特に大切なのは、ステップアップを自分で感じることです。そのためには、自分が

話したこととこういった例を比較し、どうすれば改善できるかを考えることです。そういった分析もChatGPTにしてもらい、自分の発話の癖や多く見られる誤りを確認するとよいです。

何より、同じ教材を用いて複数回練習することをおすすめします。その日のうちに2、3回行うということもそうですが、しばらくしてから同じ教材に戻ってきて再度やる、そして前回と比較してどう上達したかを確認するといったことが練習を続けるモチベーションにつながると思います。

5. スコアレベル5向け学習法

すでにスコアレベル5の人は、TOEFL Junior® Speakingを見据えた、より発展的な練習をしていきましょう。これまでに紹介した基本的な学習や練習は継続しながら、即興性の高い練習を取り入れていきましょう。続けやすいシンプルに行える練習として、即興スピーチを紹介します。まずは、以下のような日常的なことや身の回りのこと(学校についてなど)から始めるとよいと思います。

学校生活に関するトピック

- What is your favorite subject at school? Why do you like it?
- Do you prefer taking tests or writing essays? Explain your answer.
- Describe a school event you enjoyed.
- Should students have homework every day? Why or why not?

日常生活に関するトピック

- What do you usually do after school?
- Describe a typical weekend for you.
- What is your morning routine like?
- Do you prefer waking up early or staying up late? Why?

趣味・好きなことに関するトピック

- What is your favorite hobby? Explain why you enjoy it.
- Do you prefer indoor activities or outdoor activities? Why?
- What kind of music do you like? Why?
- What is your favorite book or movie? Explain why you like it.

旅行・文化に関するトピック

- Describe a place you want to visit and explain why.

- What is a traditional food from your country?
- Do you prefer traveling by car, train, or airplane? Why?
- What is the best season of the year? Why?

意見を述べるトピック

- Do you think students should wear school uniforms? Why or why not?
- Should students be allowed to use smartphones at school?
- Do you think reading books is better than watching TV? Why?
- Should children have a pet at home? Why or why not?

1分程度で、理由を述べたり、具体例を挙げたりして説明する練習を繰り返し行ってください。また、リテリングのときと同じように、しっかりと振り返り、反省点を次に生かすように意識した練習を継続するとより効果的です。振り返りの観点として、スピーチの構成、語彙、文法、流暢さ、正確さ、複雑さ、発音など様々ありますが、ChatGPTで指示すれば、具体的にどのように改善すればよいか教えてくれます。また、自分の強みについても把握できます。もちろん、ChatGPTがすべてではありませんので、可能であれば実際に先生など実際に聞いてもらい、フィードバックを得るとよいでしょう。

加えて、リテリングはすでにある内容を伝える練習で、上記のようなスピーチは自分の考えを話す練習でしたが、それらの要素を組み合わせた練習もおすすめです。内容を聞

いたり読んだりすると、自分の考えや感想を持つことがあります。そういった部分も一緒に加えて発話する練習です。リテリングで用いた内容に自分の意見を足した例が以下です。

These days, people have more unused electronics. In the past, they had about 20 items, but now they have around 30. Common items include remote controls, phones, and hairdryers. The UN warns that electronic waste is increasing too fast, and recycling cannot keep up.

To solve this issue, we need to dispose of e-waste properly. Reusing materials, repairing items, and sharing them can help. However, many products break quickly, and since they cannot be fixed, the problem is getting worse.

In my opinion, companies should take more responsibility. They should make products that last longer and are easier to repair. Also, people should be more aware of their consumption habits. Instead of buying new electronics all the time, we should try to use what we already have for as long as possible. If we change the way we think about electronics, we can reduce waste and protect the environment.

いかがでしょうか。実際に即興でここまで整理された形で話すには、相当な練習が必要です。しかし、1日5~10分の練習を積み重ねれば、目に見える形で上達していきます。

6. おわりに

本稿では、TOEFL Primary® Speakingのスコアレベルを基準に、いくつかの練習方法を紹介しました。特に最近では、ChatGPTなどの生成AIの活用が注目されています。しかし、英語をコミュニケーションの手段として学ぶのであれば、実際に人と対話したり、自分の考えを発信したりすることも大切だと考えます。自分の英語力の上達を支えるツールとして、TOEFL Primary® Speakingを活用し、英語を実際に使う場面があれば、積極的に使っていきたいでしょう。

また、日常的に英語を学ぶ機会はまさに学校の授業です。授業時間が限られていますので、英語を話す時間も多くはないかもしれませんが、だからこそ時間を無駄にすることなく、しっかりと活動に取り組む必要があります。本稿で紹介したような練習も授業の中で行うことがあるかもしれません。家庭学習として練習し、そして学校で先生やクラスメートに聞いてもらう、対話するといった実践の場とするとよいでしょう。

著者紹介

篠崎 文哉 (Fumiya Shinozaki)

大阪教育大学 多文化教育系教員養成課程英語教育部門・准教授

ハワイ大学マノア校(Second Language Studies, 学士)、大阪教育大学教育学研究科英語教育専攻(教育学, 修士)。大阪教育大学附属天王寺中学校教諭を経て、現職。現在、関西学院大学大学院教育学研究科博士課程後期課程在籍。専門領域は、英語教育学。近著に、「端末数の差と共同編集機能の有無が英語グループプレゼンテーション準備への参加態度に及ぼす影響」(コンピュータ&エデュケーション)や「Social presence and other individual differences in asynchronous English communication」(International Journal of Applied Linguistics)などがある。中学校英語教科書『NEW CROWN English Series』(三省堂)編集協力委員。これまでの研究業績やその他の活動については、<https://researchmap.jp/shinozaki.f>を参照。

関連著作レポート

- 『TOEFL Primary®のスコアレポート活用法の検討ーテストについて知ることを通してー』
- 『TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかーリーディング編』
- 『TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかーリスニング編』
- 『TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかーライティング編』

MEMO

